



誰もが希望ある未来へ！

令和7年度施政方針(市政の進め方,予算の使い方,市長の考え方)



■令和7年度予算案の概要

来年度の一般会計当初予算額は
対前年度比1.2%減の7,034億円、
特別会計予算総額は3,323億円、
企業会計予算総額は1,306億円、
全会計予算総額は1兆1,663億円であり、
一般会計予算額、全会計予算総額とともに
過去2番目に大きい予算規模。

■新時代に向けて4つの取り組み

- ①選ばれる都市として、
新たなさいたま市の創造
- ②誰一人取り残さず、誰もが住みやすく
持続可能な地域社会の実現
- ③真に災害に強いレジリエントシティ*1
の実現
- ④新たな時代に対応する市役所の創造

■令和7年度の主な事業等の4本柱

- ①新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化
- ②誰一人取り残さない持続可能な
地域社会の実現
- ③激甚化する自然災害への対策強化
- ④DX推進と公民学共創による
質の高い市役所の創造

■総合振興計画重点戦略、関連事業

- ①先進技術で豊かな自然と共存する
環境未来都市の創造
- ②一人ひとりが“健幸”を実感できる
スマートウエルネスシティ*2の創造
- ③笑顔あふれる日本一の
スポーツ先進都市の創造
- ④子どもたちの未来を拓く
日本一の教育都市の創造

- ⑤ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の
未来を創る対流拠点都市の創造
- ⑥子どもから高齢者まで、あらゆる世代
が輝けるまちづくり(ふれあいと活力
ある長寿社会の形成に寄与するため、
「ねんりんピック彩の国さいたま2026」*3
の開催に向けて、共催する埼玉県や
関係団体と連携し、準備を進めます。
- ⑦激動する新時代に「未来技術」で
躍動する地域産業づくり
- ⑧災害に強く、市民と共にくる
安全・安心なまちづくり
- ⑨環境に配慮したサステナブル*4で
快適な暮らしの実現
- ⑩絆で支え合い、誰もが自分らしく
暮らせるまちづくり
- ⑪質の高い都市経営の実現

私は、21世紀半ばまでに、
「上質な生活都市」、「東日本の中核都市」
という将来都市像実現にこだわり続けます。
そのため、令和7年度には、これまで申し
上げたような、幅広い分野において、必要
な見直しを加えた上で、新規事業の実施
や、既存事業の掘下げ・拡充を行い、これ
までより一層きめ細かく施策を展開することとしております。

それに全力で取り組むことを通じて、市民
の誰もが未来に向けて希望(ゆめ)を描き、
安心して暮らしていく都市へと本市を
更にシンカさせていく所存です。

(2025.02.04 市議会本会議場)

県民公論のマスコット



*1 レジリエントシティ

自然災害や、少子高齢化などの人口減少といった社会的な課題に直面しても、素早く復興し、さらに成長する能力がある都市。

*2 スマート

ウエルネスシティ

市民一人ひとりが健康で元気に幸せに暮らせる新しい都市モデル。

*3 ねんりんピック

彩の国さいたま2026

ねんりんピック(全国健康福祉祭)は、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典。

ねんりんピックは、長寿社会の形成に寄与することを目的として、厚生省(現厚生労働省)創立50周年を記念して昭和63(1988)年にスタートし、都道府県持ち回りで毎年開催。

令和8(2026)年は埼玉県が担当。11月7日から10日まで、さいたま市をはじめ埼玉県各地で開催。

*4 サステナブル

「持続可能な」「継続的」「ずっと続けられる」という意味。

ねんりんピック

彩の国さいたま2026

咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国

